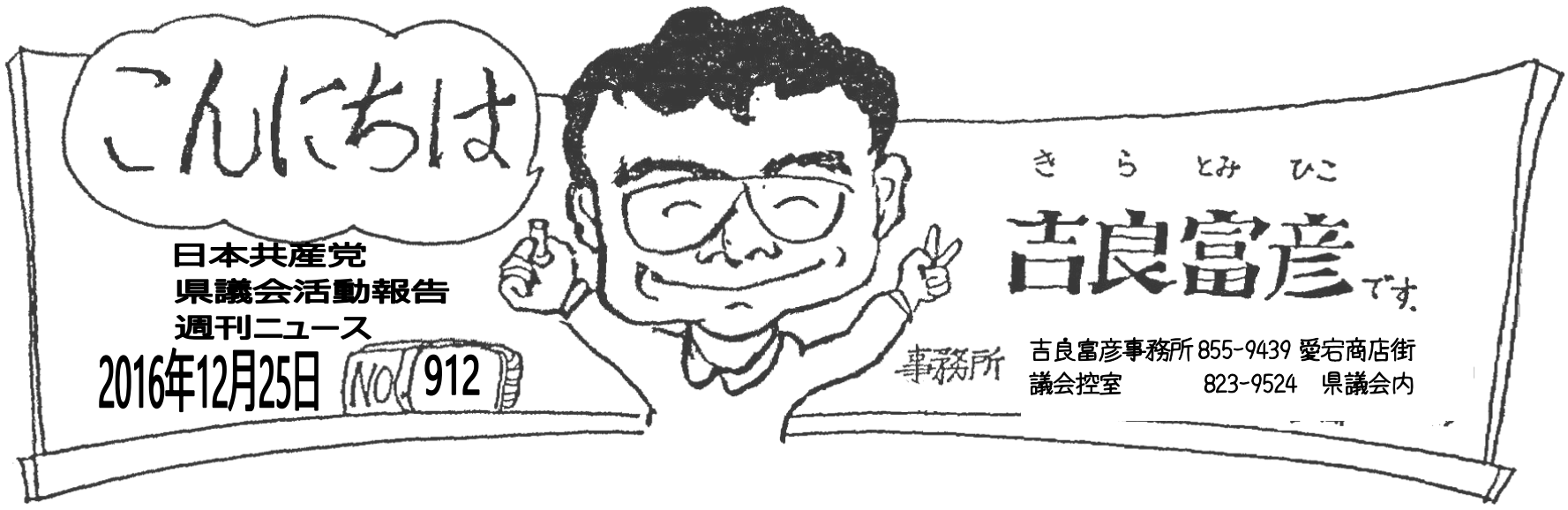


土佐湾沖に続き沖縄でも墜落 訓練中止・空域撤去せよ！

●オスプレイの配備・訓練止めよ！米軍機の低空飛行訓練を中止せよと、14日夕刻「野党と市民の緊急共同行動」（写真）

私が13日の県議会代表質問で、土佐湾沖に墜落した米軍機F18ホーネットと米軍機戦闘訓練の停止、土佐湾沖の訓練空域撤去を求めた直後に、日本国内でもついにオスプレイが墜落したのです！民家と100m！まさに他人ごとではない。

抑止力にならずに 北朝鮮や中国を挑発

●訓練空域撤去を求めよと知事の姿勢を正したが、

◎知事「国際的な安全保障環境に鑑みれば、やむを得ないものだ」と抑止力として必要との答弁だった。

◎吉良「安保法制強行による基地再編強化で、北朝鮮や中国に対する抑止力、知事の言う安全保障環境は向上したのか。中国や北朝鮮は行動を慎むようになったのか。答えは否である」「北朝鮮は今年になって1月、9月の2回核実験実施、一年に2回は初めて。弾道ミサイルの発射実験は既に20発を超えた。

中国も同様、6月9日、軍事艦船フリゲート艦が初めて尖閣諸島の接続水域に進入し、8月には、大量の漁船と警備艇が領海侵犯を繰り返し、南シナ海でも埋め立て・施設建設がすすめられ軍事演習も行われている。

安保法制と日米連携強化による訓練空域拡大は「抑止力」としては何の役にも立たず、かえって挑発し軍事的緊張を高めている」

米従属の軍事同盟強化ではなく 領土問題での主張をせよ

●「世論調査でも、海外の紛争に巻き込まれる危険が「高まった」（59.9%）と国民は考えており、危険が高まったとは思わない27.1%（時事通信8/12発表）の倍以上だ。この現実を知事はどう見るのか、安保法制路線ではなく、別の道が必要と思わないのか」と、問い返しました。

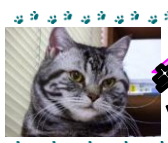
愚か極まりない米追従の「終わりなき軍拡、際限なき脅しあい」ではなく、尖閣諸島領有権の正当性を国際法と歴史的事実に基づき、中国に対し堂々と主張することが、問題の平和的解決への力となります。それは、北方4島領有権でロシアに対しても同様です。

●新しい希望の年へ

1月にも解散総選挙かともいわれている中、白川よう子さんと島崎やすおみさんと街宣しました。

市民と野党の共同で安保法制、原発再稼動、TPP、年金カット、カジノ強行した自民、公明、維新が支える安倍政権打倒を目指し頑張ります。

今年の参院選では、市民と野党の共同が大きな力を発揮しました。読者の皆さんの支えがあったればこそ頑張れた年でした。来たる年が皆様にとりまして幸多からんことをお祈り申し上げます。一年間のご購読有難うございました。良い年を お迎え下さいませ。



キラリンにゃんでも通信